

スポーツYAMATO

OP
戦最終調整
VS
静甲戦

立川打った

4月9日。開幕前
最終OP戦の2試合目。7回
裏、立川が右中間への2塁打を
放ち1点を返す。OP戦は初戦から
本塁打を放った立川がいよいよ
覚醒だ。開幕戦から立川可純
の打席から目が離せない。

開幕に向け投手陣は順調

3月13日一宮オープン

1-18 大敗の悪夢を払拭

結果は2連敗も手ごたえ十分な2試合

一宮オープンで味わった
歴史的な大敗の屈辱は今年
のチームにしっかりと刻
まれたまま。「この大敗
に目を背けてはダメ。こ
こで起きたことはもう繰
り返さない。」と車キャ
プテンが前を向いてから
早、一カ月が経過した。
一週間後に開幕節を控え
たオープン戦の最終調整
に杉野監督が選んだ相手
は、あの試合と同じ「静
甲」だった。今年の静甲
打線はオープン戦絶好調
で5点以内に抑えられた
試合がなく、大和が静甲
打線を最少失点に抑える
ことができれば投手陣に
計算がたつと杉野監督は
見ていた。その点を考え
ても相手にとって不足は
ない。今年の日本リーグ
は6チームずつプラチナ
リーグとサファイアリー
グに分かれて戦う。大
和はプラチナリーグ、静
甲はサファイアリーグに
振り分けられたため、お
互いがリーグ戦であたる
ことはないが、順当にい
けば、両チームが1位で
通過するだろう。したが
って11月の順位決定節では
頂上決戦になるのは必至
だ。静甲の良知監督もあ
の時の大和は本来の大和

第1試合結果0-3

第1試合の先発は左のエ
ス・斎藤が登板。立ち上
りに不安のある斎藤だが
この日は違った。序盤か
らストライク先行で相手
に主導権を渡さず、安定
したピッチングを披露。
静甲打線も早めの仕掛け
で小技を絡めて揺さぶつ
てきたが、斎藤も好フィ
ールドイングを連発し、課
題であった序盤を0点に
抑えた。2巡目に静甲の
好調打線につかまり2点
を失ったが、5回を投げ
て2失点は相手を考えれ
ば十分な打球内容だった
と言えるだろう。開幕節
に向けて左のエースは順
調な仕上がりを見せた。
一方、打撃陣は序盤、相
手投手を責め立てたが、
なかなか1本がでず、中
盤からは静甲のエース山
本に変わってからは手も
足も出ず、得点に結び付
けることは出来なかった。
好投手が登板する前に得

第2試合結果1-2

点しておけば試合展開も
変わっていただろう。

第2試合の先発は右のエ
ス・大串。これまでのオ
ープン戦は貫禄十分のピ
ッチングでエースとして後
輩の手下として結果を示
してきた。この日も序盤
は好調静甲打線を完璧に
封じ込めたが、2巡目に
連打を浴びてしまい、5
回を投げて2失点の内容
だった。ボール自体に問
題はなく、公式戦になれ
ば大串の真骨頂である勢
いのある直球で、圧巻の
ピッチングを披露するだ
ろう。6回からはルーキー
古川が、7回は2年目の
木村が共に無失点に抑え
た。ルーキー古川は球速
以上の重さがあり、静甲
の各打者を手玉にとつて
みせた。古川が抑えると
木村が燃える。木村の負
けず嫌いを利用した継投
はこの日も成功した。木
村自身も球速がどのどん
上がってきており、今シ
ーズンは古川・木村の継投
がはまる可能性も。第2
試合の打線は、先発のエ
ス・山本にまたもや抑えら
れていたが、投手が変わっ
た最終回に車のレフトオ
ーバー2塁打に続き、立川
が右中間への2塁打を放
ち1点差まで詰め寄った
がそこまでだった。